

2015 年度 事業計画書

1. 図書館業務

(1) 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入
- ③ 寄贈・寄託事務の改善

(2) 整理

① 寄贈・寄託および購入資料の整理

図書 大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書 2500～3000 冊

矢島道弘収集無頼文学コレクション 550 冊

木島始文庫 250 冊

渡辺彰・赤岡東コレクション 150 冊 ほか

雑誌 出版社寄贈新刊、同人誌、会報、紀要 約 7,000 冊

購入 約 100 冊

紅野敏郎文庫正本（継続） ほか

特別資料 丸谷オーコレクション原稿

下島勲コレクション追加資料のうち日記、宛書簡

沢木欣一・細見綾子資料

犬田卯・住井すゑコレクション

ほか 紅野敏郎文庫 書簡以外の肉筆資料、小川国夫文庫追加資料など

② 図書・特別資料・雑誌副本の遡及入力

図書 一般書架配架の作品正本

特別資料 佐佐木信綱宛書簡ほか

(3) 閲覧等サービス

① 閲覧

駒場本館 休館日＝日曜、月曜、第 4 木曜、年末年始、特別整理期間

成田分館 開館日＝毎月第 1、第 3 土曜日（12 月の第 3 土曜日、年始を除く）

② 資料複写、資料写真サービス

・視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する。

2. 展覧会

(1) 館内展示

① 春季展示 4 月 4 日（土）～6 月 13 日（土）

企画展「少年少女雑誌にみる近代」展（編集：安藤宏、池内輝雄、久米依子、浜田雄介）

川端康成記念室「川端康成と『文藝時代』の人びと」

② 秋季展示 9 月 26 日（土）～11 月 28 日（土）

特別展「高見順没後 50 年」展（仮題、要項は別紙のとおり）

川端康成記念室「川端康成と高見順」（仮題）

③通常展 6月27日(土)～9月19日(土)

「近代文学の名作 昭和」(レプリカ、複製版、写真などによる展示)。

★2015年12月～2016年3月は、展示室改修工事のため閉室。

④共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」(仮題)2016年3月11日(金)～3月26日(土)

★展示室改修工事のため、館講堂を会場として開催する。

(2) 企画展示の貸出し

・「漱石山房の日々」展(神奈川近代文学館と共同出品)

北九州市立文学館(5月2日～6月21日)、菊池寛記念館(8月29日～10月4日)

(3) 出品協力

・高見順没後50年戦後70年記念特別展「昭和から未来へのメッセージ」

(福井県ふるさと文学館 10月31日(土)～2016年1月17日(日))

3. 講座・講演会

(1) 第52回夏の文学教室

7月20日(月)～7月25日(土)、有楽町・よみうりホール(読売新聞社後援)

テーマ:

「歴史」を描く 「歴史」を語る(仮)

初日は谷崎潤一郎没後50年記念特集とする。

(2) 声のライブラリー(石橋財団補助事業)

5月9日、9月12日、11月14日、2016年2月13日の各土曜日 午後2～4時、館ホール

・会の模様をビデオに収録し視聴覚資料の充実をはかる

(3) 資料は語る(企画案別添)

前期:3回=4月・5月第3土曜日、6月第4土曜日/後期:3回=9～11月、各第3土曜日、館ホール

(4) 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理(企画案別添)

8月25日(火)～29日(土)、館ホール、午前10時～午後5時10分(1日4コマ、計20コマ30時間、2単位)

(5) 文学館へ行こう!

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回30名程度。

春:4月25日(土)、5月23日(土)、講師=中島国彦

秋:日時・講師未定

4. 刊行物

「日本近代文学館年誌—資料探索」第11号 2016年3月刊行

編集委員:松村友視(今号担当)、江種満子、中島国彦、山崎一穎

5. 全国文学館協議会

総会の開催(6月17日(水))、部会活動、会報の発行など

6. 広報

館報「日本近代文学館」の続刊

7. 創立 50 周年・開館 45 周年記念事業

(1) 展示室改修計画（2015 年 12 月～2016 年 3 月実施予定）

8. 設備改修工事

(1) 電動式集密書架の改修：2015 年度は C 単位を予定（1440 万円）

（A～H 単位総額で 1 億 340 万円＝茂木電機見積。2014 年度は D 単位の改修を実施。
修繕計画を立て、2021 年度までに順次実施する）

(2) 空調設備の改修：2015 年度（4～5 月）実施予定。

見積金額 3780 万円（2014 年 12 月 22 日東京冷機工業見積）

改修方式の検討と見積を複数業者に依頼、工事費とランニングコスト（保守料、電気・ガス・水道料金）の両面から検討した結果、東京ガス「小型空調専用料金」が適用されるガスヒートポンプ式を採用することにする（現行は冷温水発生機式）。

2015 年度秋の特別展「高見順没後 50 年展」(仮称) について

- 1 趣 旨 当館初代理事長である高見順の没後 50 年を記念し、豊富な資料を誇る高見順文庫のなかから貴重な資料を紹介し、その功績を顕彰する。
展示室リニューアル前の最後の展覧会となり、併設の川端記念室では高見順とゆかりの深い川端資料を展示する。
- 2 タイトル 高見順没後 50 年展 (仮称)
- 3 期 間 2015 年 9 月 26 日 (土) ~11 月 28 日 (土)
- 4 会 場 日本近代文学館展示ホール
- 5 主 催 公益財団法人 日本近代文学館
協 力 公益財団法人 高見順文学振興会
- 6 編集委員 荒川洋治・安藤宏・池内輝雄・宮内淳子・武藤康史
- 7 部門構成 今後の編集会議で相談
- 8 図 録 館内作成のリーフレットを実費程度の値段で販売 (50~100 円)
(カラー/ページ数は要検討)
- 9 関連イベント 会期中に高見順文学振興会主催で講演会を開催したいと同振興会から申し入れがあった。
講師の方の依頼や謝礼のお支払いは振興会が担当 (文学館と協議しつつ振興会主体で実施)、当館は会場として講堂をお貸しする形で協力する。
広報 (ポスター・チラシなど) は展覧会と共通のものを作成する。
開催時期は未定。
- 10 内 覧 会 講演会実施をふまえ要検討。

2015年度 講座「資料は語る」開催要項

- 1 講座名 : 「資料は語る」
- 2 本年度タイトル : 「文学と挿画のコラボレーション」
- 3 開講回数 : 前期3回・後期3回 計6回
- 4 日 程 : 前期 4月18日(土)・5月16日(土)・6月27日(土)
後期 9月19日(土)・10月17日(土)・11月21日(土)
- 5 開講時間 : 各回とも午後2時から午後3時半(質疑応答含む)
- 6 定 員 : 40名
- 7 会 場 : 日本近代文学館講堂(目黒区駒場4-3-55 駒場公園内)
- 8 受講料 : 全期間(6回)10,300円/前期または後期5,200円/1回のみ2,100円
※会員はそれぞれ一割引(全期間9,300円、半期4,700円、1回1,900円)

9 内 容 :

本講座「資料は語る」は、日本近代文学館蔵の原稿・書簡・図書・雑誌・写真などの貴重資料の存在を、より多くの方に知っていただきたいという考えから、前身の講座「文学者を肉筆で読む」をリニューアルし2009年度より開講しているものです。

前期・後期各3回で、それぞれ本テーマに造詣や関心の深い文学者・研究者の先生をお招きします。会場には各回の内容に関連する資料を展示し、講師の先生方にはこれらの資料を用いながらお話をさせていただきます。

10 プログラム :

- | | |
|------------------------------|-----------|
| ①明治下町の情感 樋口一葉「にごりえ」と鍋木清方 | 講師 : 関 礼子 |
| ②漱石「明暗」と名取春仙の挿絵 | : 十川信介 |
| ③大正ロマンの傑作 菊池寛「真珠夫人」と鱒崎英朋 | : 日高昭二 |
| ④関西モダニズムの世界 谷崎潤一郎「蓼喰ふ虫」と小出檜重 | : 千葉俊二 |
| ⑤村山知義と新聞紙 | : 五十殿利治 |
| ⑥探偵小説の大仕掛け 江戸川乱歩「黄金仮面」と吉邨二郎 | : 浜田雄介 |

※各回の内容は講師によって変更する場合があります。

資料の声を聞く 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

講師代表 十川信介

8月25日(火)～29日(土) 午前10時～午後5時10分

(1日4コマ、計コマ30時間、2単位)、館ホール

第1日 総論

オリエンテーション

近代文学館とは

坂上 弘

日本近代文学館の所蔵資料とその意義

池内輝雄

資料の収集・活用

資料を活用する研究法(講義・演習)(1) 自筆資料(書簡・ノート) 安藤宏

資料を活用する研究法(講義・演習)(2) 図書

東郷克美

第2日

資料を活用する研究法(講義・演習)(3) 雑誌

宗像和重

図書の利用(実習)

雑誌の利用(実習)

挿絵・写真資料の調査・保存(実習)

第3日

資料を活用する研究法(講義・演習)(4) 新聞

日高昭二

肉筆資料の解説(実習)

同時代資料の解説

海外における日本文学の研究

和田博文

文学と大衆・女性(講義・演習)

宮内淳子

第4日 文学の周辺

出版メディアの戦略・検閲(講義・演習)

紅野謙介

文学と美術・音楽(講義・演習)

中島国彦

資料の保存・公開・展観

資料の保存・修理(実習)

資料の公開・展観(実習)

第5日 文学をめぐる問題

文学と映画(講義・演習)

池内輝雄

草稿・注釈をめぐる問題(講義)

十川信介

総括

近代文学館に対する要望(質疑応答)

池内輝雄・十川信介・中島国彦

反省会